

SAKAI

2017

4

No.603



今年もきれいに咲きました

さかいの桜



平成 29 年度 予算と主な事業

平成 28 年度 財政改善効果

高めよう防災力

境人事部

各行政区新区長さん紹介

舞台ファームとの包括連携協定

農業リノベーションに挑戦！





ふるさと納税や国・県からの補助金、民間資金を活用！

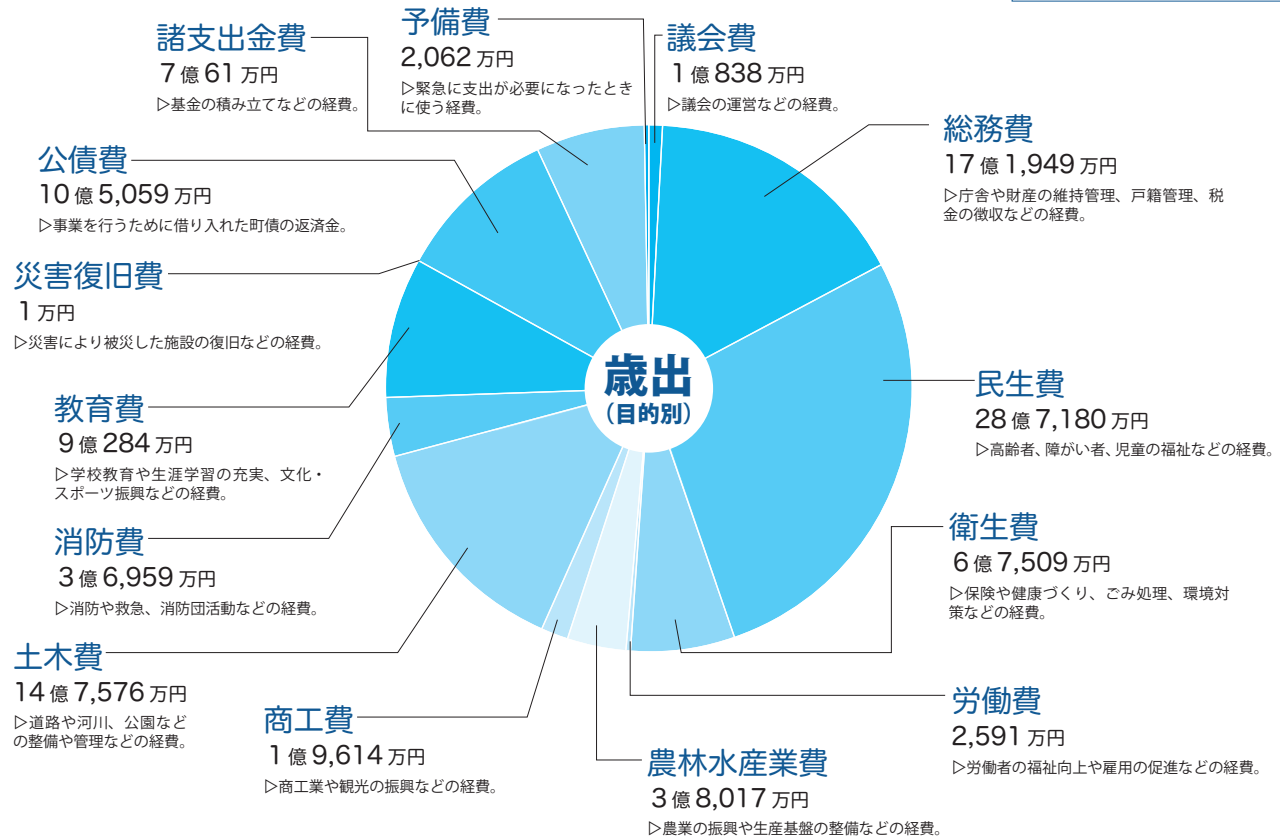
新たな財源を
獲得しています！

予算額前年度比
15億5,900万円増のうち
新たに獲得した財源
(ふるさと納税、国・県補助など)
13億2,340万円増



一般会計 歳出 総額 104億9,700万円

町民一人当たりに使われたお金
43万1,514円※



茨城県
境町

予算と主な事業

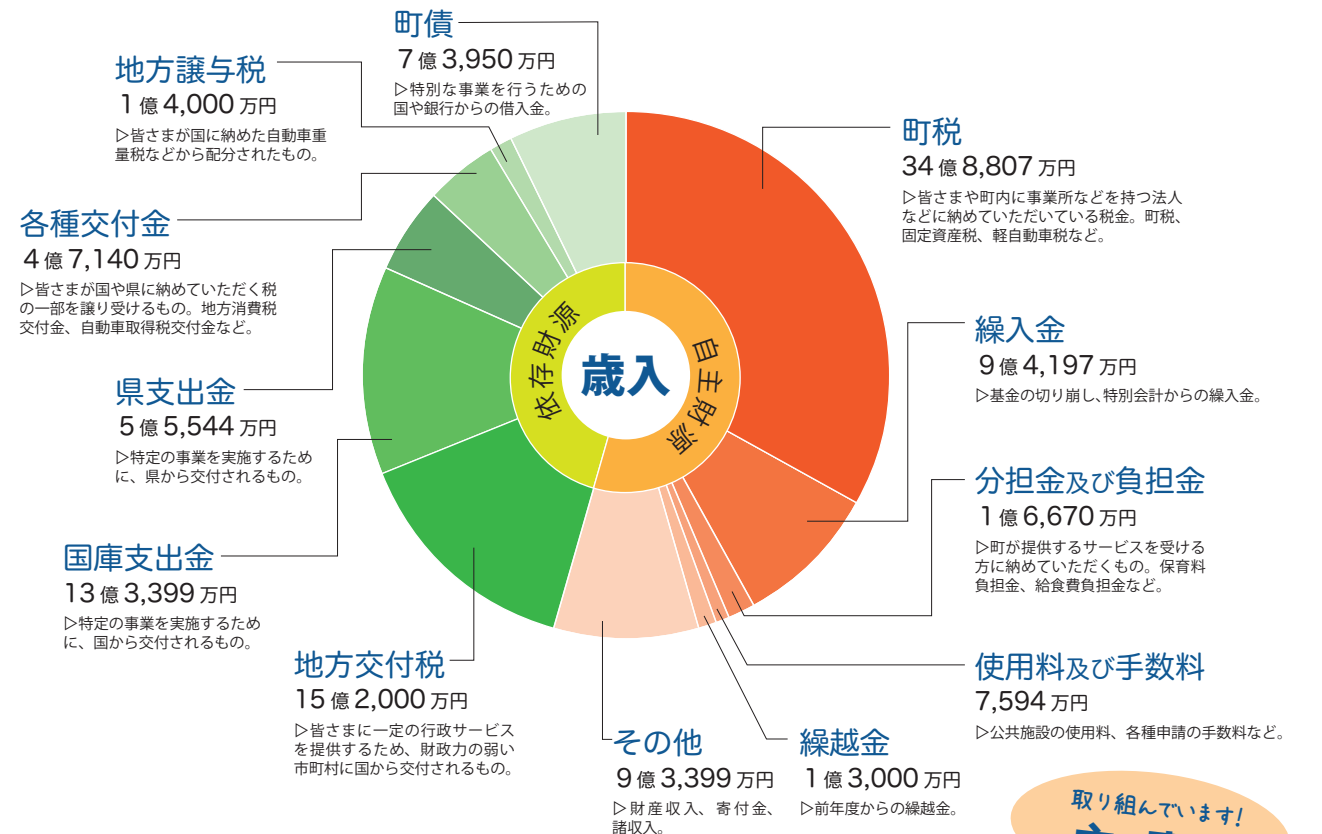
平成29年度

※平成29年4月1日現在の常住人口2万4,326人より算出しています。

3月に行われた定例議会において新年度予算が可決され、4月より新たな事業がスタートしました。ふるさと納税や国・県からの補助金、民間資金などを活用して様々な事業に取り組んでいくため、予算額は過去最大の104億9,700万円（前年度比15億5,900万円増）となっております。

一般会計 歳入 総額 104億9,700万円

町民一人当たりの負担（納税額）
14万3,389円※



取り組んでいます！
主な事業

10 舞台ファームとの連携事業

ふるさと納税
活用

農業新時代の次世代型人材育成支援事業 864万円

農業活性化のために、新たな農業技術や知識を習得し、次世代を担う農業経営者を育成支援する。

農業サポーター制度支援事業 108万円

繁忙期の人手不足を解消するために、「農業サポーター制度」を取り入れ、町民と農家をつなぐ農業支援ネットワークを創設する。

農業ドローン支援事業 108万円

最新鋭機器である「ドローン」を農業の現場に導入し、農業の効率化・精密化を図るため、機器操作技術の習得を支援する。
→舞台ファームとの締結内容について詳しくは12ページで紹介。

11 雨水排水整備事業 3,000万円

国補助・地方債
活用

ゲリラ豪雨等に備えた都市下水路を整備するための実施設計業務を委託する。

6 スーパーグローバル スクールモデル事業 1,178万円

ふるさと納税
活用

ネイティブの英語講師を招き、グローバル人材育成を目指した本格英語教育（29年度はモデル事業として境小学校にて導入）。

7 子育て応援 予防接種拡充事業 340万円

ふるさと納税
活用

高校3年生までを対象としたインフルエンザ予防接種の助成。

8 子育て応援学校給食費 補助金交付事業 4,889万円

ふるさと納税
活用

小中学校給食費の補助（第1・2子：半額補助、第3子以降：全額補助）平成28年6月より実施。

9 地域優良賃貸住宅 整備事業(PFI) 3億8,692万円

国補助
活用

民間の資金、経営能力、技術力を活用した定住促進住宅の建設。

3 ディーエイチシー との連携事業



ふるさと納税
活用

葉酸サプリプロジェクト事業 366万円

葉酸サプリ（ビタミンB群の一つ）の摂取を促し、住民の健康促進を図る。

健幸マイレージ事業 985万円

生活習慣病予防、健康づくりを応援するための事業。

4 ふれあいの里グラウンドゴルフ場 駐車場整備事業 2,036万円

ふるさと納税
活用

利用者が増加しているため、利便性の高い駐車場・駐輪場を整備する。

5 海外友好都市交流 推進事業 362万円

本格英語教育導入のための講師を招くなど様々な分野において交流を図るため、フィリピン・マリキナ市との友好都市協定を締結する。

1 文化村リノベーション 推進事業 2,500万円

ふるさと納税
活用

企業版ふるさと納税を活用した文化村施設のリノベーション事業。



2 水害避難タワー 整備事業 1億6,281万円

国補助・地方債
活用

関東・東北豪雨災害（平成27年9月）を教訓とし、今後の水害などに備えるための水害避難タワーを建設。避難場所、防災倉庫、非常用電源設備を設置します。



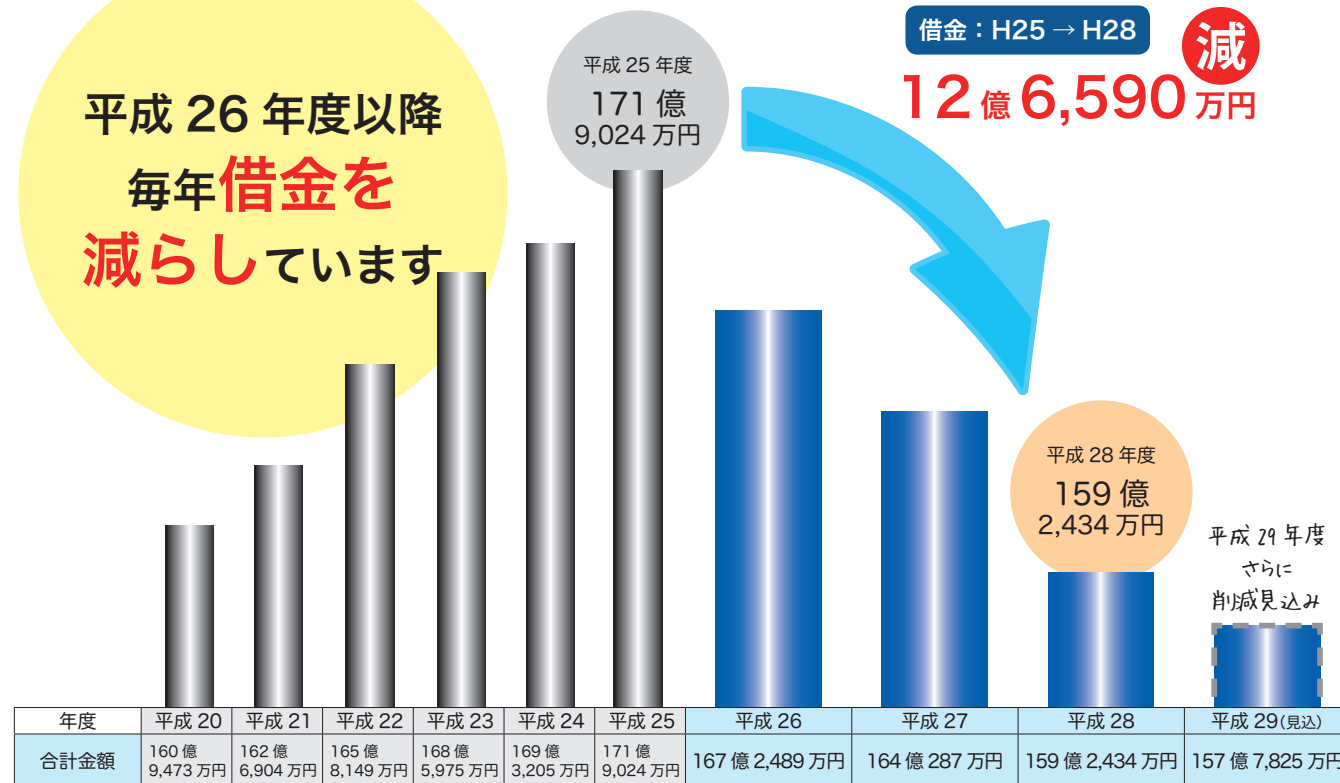
完成イメージ。約200人が一度に避難できる。

境町ふるさとづくり基金や太陽光発電事業が貢献!

町の借金を減らし、貯金を増やしています

境町の借金 [地方債残高] の推移 平成 29 年度見込 **157 億 7,825 万円**

平成 26 年度以降
毎年借金を
減らしています



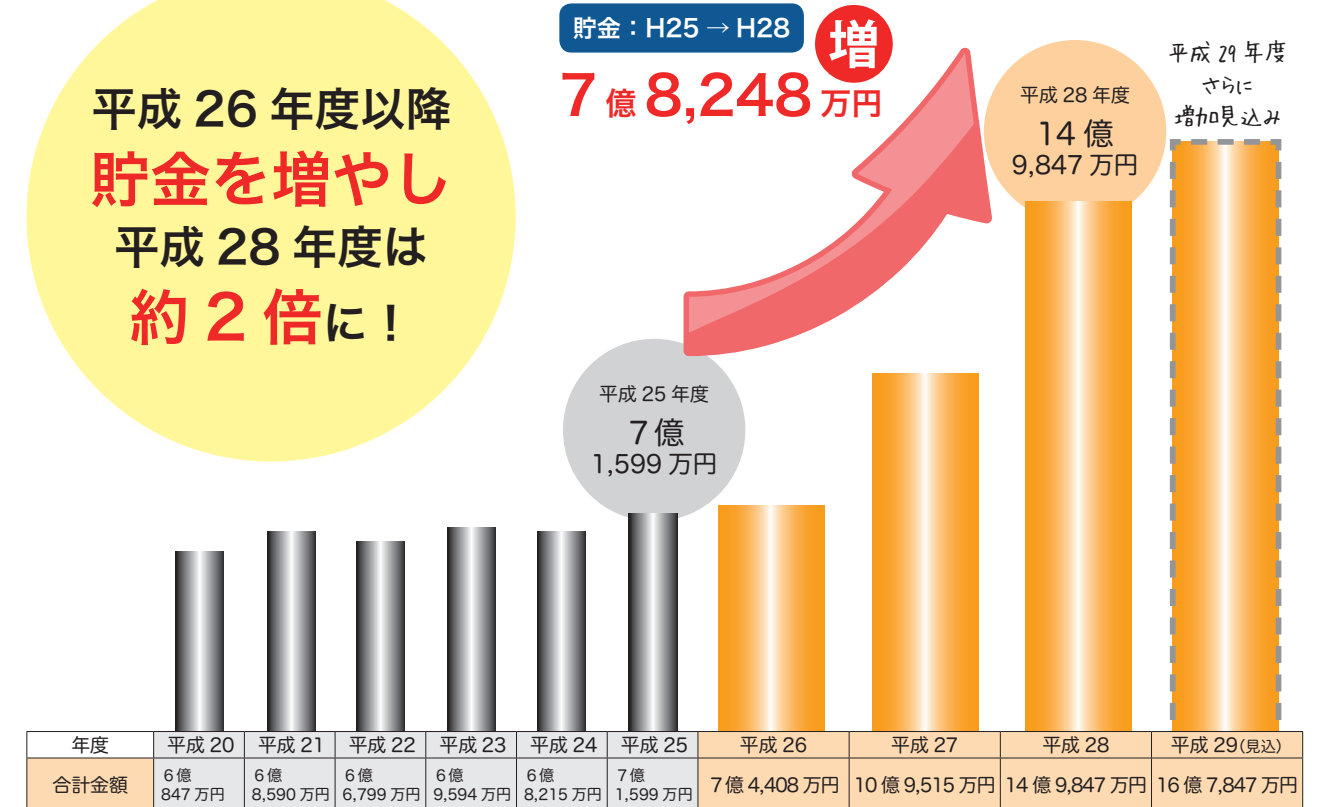
「平成 18 年から平成 25 年の過去 8 年分の借金を、4 年間で返す見込みです。」

平成 28 年度

財政改善効果

境町の貯金 [財政調整基金] の推移 平成 29 年度見込 **16 億 7,847 万円**

平成 26 年度以降
貯金を増やし
平成 28 年度は
約 2 倍に!



「貯金は、4 年間で 2.4 倍、過去最大の 16 億円の貯金額になる見込みです。」

平成 28 年度 財政改善効果

黒字化により町で水道課職員の表彰が行われました。

定住促進事業効果

3 定住促進により水道加入者が増加

加入件数 **増** 約 90 件

金額 **増** 約 1,400 万円

※平成 27 年度の決算実績値と比較

水道会計事業で 13 年ぶりに黒字化の見通し!

コスト削減効果

1 長井戸浄水場で作る自家製の水を増量

長井戸浄水場で作る自家製の水を年間 10 万トン増やし、県(県西広域水道用水供給事業)からの受水割合を減少。

減 約 600 万円

※平成 27 年度の決算実績値と比較

2 水道工事にかかる修繕費等のコストを削減

コスト削減や水道加入者増加で黒字化の見込み

毎年赤字が続いていた水道事業予算において、平成 28 年度は 13 年ぶりの黒字化となる見通しです。

これは、①県からの受水を減らし、長井戸浄水場で作る自家製の水を増やしたこと、②修繕等にかかる費用を業者との交渉努力により削減したこと、③移住定住促進事業により水道加入者が増えたこと、などが要因として挙げられます。

いつ起こるか分からない災害に備えて

高めよう防災力



いつ訪れるか分からない大規模災害。日頃から十分な備えを行っておくことが、何よりも大切です。町では、災害に備え、新たに最新消防車両2台を導入した他、町内5校の小学校にトイレとしても使える防災備蓄倉庫の整備を行うなど、防災力の強化に努めています。

●平成29年3月1日（水）、3月13日（月）

新たに最新消防車両を2台配備

①総務省無償貸付制度
全国5台のうち1台が
境町消防団第10分団へ配備



境町消防団第10分団の皆さん



新たに配備された最新消防車両の引渡式



車両の操作説明を受ける消防団員の皆さん

②17年ぶりの買い替え
新型消防車両を境町消防団第9分団へ配備



境町消防団第9分団の皆さん



消防団員の皆さんによる新車両の点検の様子

最新消防車両配備で
地域の防災力を高める

3月1日（水）、役場正面玄関前において、総務省消防庁より境町消防団第10分団への消防車両の引渡式が行われました。

これは、総務省の無償貸付制度を活用したもので、全国で5台のうち1台が境町に貸し付けられ、境町消防団第10分団へ配備されました。

最新型の車両には、エンジンカットやチェーンソー、自動体外式除細動器（AED）、救命胴衣などが装備されています。

また、3月13日（月）には、町として17年ぶりの買い替えとなる消防車両が納車となり、境町消防団第9分団への引渡式が行われました。

これによって、町では2台の最新消防車両が配備され、いつ起こるか分からない大規模災害などに備えて、ますます地域で地域を守る防災力の強化が期待されます。

●平成29年3月14日（火）
栗山防犯パトロール有志隊へ
県・町から感謝状

栗山防犯パトロール有志隊の自主的なパトロール活動に、県及び町から感謝状が贈られました。

これは、平成24年、近隣でトラックター盗や不審火などが多発していたことから、当時の区長の大谷至功（よしのり）さんが代表となり、有志17名でパトロール隊を結成され、青色パトロール車でのパトロールを行ってきた功績が認められたものです。

平成24年より有志17名で
防犯パトロールを実施



役場での感謝状贈呈式の様子（写真右から3番目大谷会長）

『安全は地域のみんなで守ろうと始まった活動。地道に続けてきた活動が認められ、とても嬉しかった。今後も地域に密着して活動をしていきたいです。』

（栗山防犯パトロール有志隊長
大谷至功さん）

●平成29年4月3日（月）
町内5つの小学校に
防災備蓄倉庫を整備

町は、関東・東北豪雨災害の被災を教訓に、備蓄品や避難所の充実を図るため、災害時に避難所となる町内5つの小学校にトイレとしても使用できる防災備蓄倉庫を整備しました。

この倉庫は、災害時に備蓄品を持ち出した後、四隅を仕切り、組み立て式の便器を設置することで、4人が同時にトイレとして利用できる設計となっており、避難所のトイレ不足の解消とプライバシーの確保にも繋がると期待されています。

災害時はトイレとしても使用可能な
備蓄倉庫を整備



町内5校の小学校に整備された防災備蓄倉庫

4隅を区切りトイレを設置した様子

●平成29年3月4日（土）
境町消防春季点検式
を挙行

J A茨城むつみ本店駐車場において、平成29年境町消防春季点検式が行われました。この点検式は、消防防災活動に従事する境町消防団（加藤正則団長）の士気を高め、常に迅速で適切な活動が行えるよう人員・姿勢・服装と機械器具を橋本町長や加藤団長、来賓、近隣の消防団長らが点検するものです。

今年は、境小学校6年生の老沼（おいぬま）一獅（ひとし）さんと宮野（みやの）響愛（ひな）さんが一日点検官を務めました。

1日点検官と共に人員・服装・
機械器具等を点検



人事部 Personnel Dept.

町では、町政運営にかかわる新参与や防災危機監、地域おこし協力隊員を新たに任命しました。新たな視点から助言・ご協力いただきます。

参 与

総務部 総務課

平久 真

▶たいらくまこと

略歴
 平成 14 年 3 月 東京大学教育学部卒業
 平成 14 年 4 月 東京都入庁
 平成 19 年 3 月 早稲田大学大学院法務研究科修了
 平成 21 年 12 月 弁護士登録
趣味：旅行（毎年沖縄に家族で行きます）



Special Personnel

01

法務能力を高め よりよい町政へ

「行政需要にスピード感をもった的確に対応するため、法務能力を向上させる」ことが私の使命だと感じています。これまでの経験・知識を生かし、法務全般に対する助言を行い、職員の皆さんの法務能力向上に尽力します。

危 機 管 理 監

総務部 防災安全課

高桑 大助

▶たかくわ だいすけ

略歴
 昭和 52 年 4 月 陸上自衛隊少年工学校入隊（神奈川）
 北海道、新潟、茨城、東京などの駐屯地にて、中隊長、基地対策、防衛班長（災害担当）、団本部科長などを歴任
 平成 29 年 2 月 陸上自衛隊を定年退官
趣味：DIY **特技**：居合道、剣道、銃剣道



Special Personnel

02

防災意識を高め 安心・安全のまちづくりを

危機に直面した時、的確に対応するためには、一人一人がその状況を「危機」と認識できるかが重要です。「安全・安心だから境に住みたい」その輝かしい未来のために「平素何をすべきか」を考え、町民の皆様と取り組んでいきたいと考えています。

Special Personnel

03

元Ｊリーガーが境トリニタス新監督に就任

地 域 お こ し 協 力 隊

境トリニタス監督

広瀬 治

▶ひろせ おさむ

略歴
 昭和 59 年 3 月 帝京高校卒業
 昭和 59 年～平成 12 年 三菱（浦和レッズ）にてＪリーガーとして活躍
 平成 13～15 年 浦和レッズ Jr ユースコーチ
 平成 16 年 浦和レッズユースコーチ
 平成 17・18 年 浦和レッズユース監督
 平成 19・20 年 浦和レッズ コーチ
 平成 21・22 年 浦和レッズ 強化部
 平成 23 年 浦和レッズ コーチ



Ｊリーグ
 通算 172 試合出場
 13 得点！

1 年間で県社会人リーグ 1 部 昇格を目標に戦っていきたい！

「将来Ｊリーグを目指すクラブなので監督をしてくれないか」とオファーがあり、チームと境町の両方を盛り上げたいと思い、受けさせていただきました。また、境トリニタスは去年立ち上げたばかりの社会人サッカークラブで歴史が無い中で、Ｊリーグ参入に向けてチームを作り上げていかなければなりません。ゼロからのスタートでしっかりとした組織を作り上げていくところにやりがいを感じています。

私自身、約 15 年の指導歴のなかで、社会人の指導を行うのははじめてです。仕事を持ちながらサッカーの練習に励んでいる選手の皆さんのサッカー愛を受け、着実にチームの強化に励みたいと思います。

派遣・新規等 採用職員

平成 29 年採用の職員ならびに派遣職員を紹介します。

秘書室 秘書広聴課
主事 石塚 旦歩

中途
採用

3 月 13 日付



千葉県野田市出身。武蔵野大学卒業後、受付業務や航空券予約業務等に従事。趣味は旅行、ライブ鑑賞、特技はスポーツ全般。
Voice ▶これまでの経験・資格を生かし、境町の発展に貢献できるよう日々精進して参ります。

秘書室 まちづくり推進課
主幹 斉藤 新一

さしま環境
センターより
派遣

4 月 1 日付



境町出身及び在住。東洋大学卒業後、約 16 年勤めるさしま環境管理事務組合より派遣。趣味は、野球や子どもと一緒に遊ぶこと。
Voice ▶経験を生かし、持てる力を最大限に発揮して境町の発展に努めて参ります。

建設農政部 建設課 開発指導準備室
課長補佐 秋津 有児

県より
派遣

4 月 1 日付



那珂市出身、下妻市在住。境町に 3 年間に在任経験あり。県に入庁後、筑西土木事務所等にて 21 年間土木行政に従事。趣味は、音楽・映画鑑賞。
Voice ▶県での経験を生かし、計画的なまちづくりに貢献できるよう、業務に取り組んで参ります。

福祉部 介護福祉課
主事 金子 瞬

中途
採用

2 月 1 日付



石岡市出身、境町在住。埼玉県立大学卒業後、病院で医療福祉相談員として約 6 年従事。趣味は、車椅子バスケットボール。
Voice ▶これまでの経験を生かし、境町の介護・福祉の発展に貢献できるよう努めて参ります。

福祉部 社会福祉課
主事 木村 勝哉

新規
採用

4 月 1 日付



境町出身及び在住。城西大学卒業後、有料老人ホームのホーム長や社内研修の講師に従事。特技はサッカーで、社会人サッカーにも参加。
Voice ▶生まれ育った境町でこれまでの経験を生かし、貢献できるよう責任を持って尽力して参ります。

秘書室 まちづくり推進課
主事 野村 恵

新規
採用

4 月 1 日付



境町出身及び在住。日本女子大学卒業。趣味は、映画鑑賞と料理。休日は健康のために始めたランニングを楽しむ。
Voice ▶境町がより魅力的な町になるよう、精一杯業務に励みたいと思います。よろしくお願いたします。

秘書室 企画経営課
主事 大島 巧也

中途
採用

1 月 1 日付



八千代町出身、境町在住。福島大学卒業後、地域金融機関に約 9 年従事。趣味は、水泳、映画鑑賞、ライブ鑑賞。
Voice ▶境町の発展に貢献できるよう、自分のやるべきことを責任持って取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いたします。

教育委員会 生涯学習課
主事 塚原 可奈子

新規
採用

4 月 1 日付



古河市出身、境町在住。高千穂大学卒業。学生時代は軟式テニス部で、今も仲間と楽しむ。特技は、日本舞踊（滝川流）で名取得。
Voice ▶よりよい境町を作り上げていくために責任感を持ち日々の業務に精一杯努めて参ります。

福祉部 子ども未来課
主事 織原 智史

新規
採用

4 月 1 日付



境町出身及び在住。日本大学卒業後、福祉事業会社にて約 10 年従事。趣味は読書と野球。特技はどこでも寝られること。
Voice ▶魅力あるまちづくりに貢献できるよう、素直さと謙虚さを持って仕事に取り組んで参ります。

福祉部 子ども未来課
主事 金谷 直美

中途
採用

1 月 1 日付



古河市出身。学習院大学（文学部ドイツ語圏文化学科）卒業後、自動車ディーラーにて経理や接客に従事。趣味はストレッチボール。
Voice ▶これまでの経験を生かしながら、町民の皆様とのふれあいを大切に、日々努力して参ります。

福祉部 介護福祉課
主事 関 めぐみ

新規
採用

4 月 1 日付



境町出身及び在住。役場臨時職員として学童保育指導員や介護福祉課認定調査員に従事。趣味は料理やハンドメイド、特技はピアノや篠笛。
Voice ▶日々変化し続けている境町。この変化を皆様に感じていただけるよう、より一層努めて参ります。

各行政区の 区長さんをご紹介します



4月6日に行われた区長会総会の様子

平成29年度の新区長さんが決まりました。区長さんには、住民と町のパイプ役として住みよいまちづくりのためにご活躍いただきます。

平成29年度区長会長の
遠藤光一さん（写真左）

地区	行政区名	区長名	世帯数
境地区	本船町	あらかわ まさひろ 荒川 正博	33
	下仲町	えんどう こういち 遠藤 光一 会長	20
	上仲町	わたなべ けんいち 渡邊 健一	32
	上町	さいとう よしお 斉藤 良夫	115
	住吉町第1区	つかはら えいいち 塚原 栄一	92
	住吉町第2区	せき かつひろ 関 一宏	107
	住吉町第3区	くらもち けんじ 倉持 健治	91
	宮本町	そめや きんじ 染谷 欽示	179
	坂花町	おのざと とし夫 小野里 利夫	51
	新吉町	しかくぼ きいち 鹿久保 喜一	86
	山神町第1区	こかや ふみお 五ヶ谷 文男	158
	山神町第2区	こじま しげる 小島 茂	151
	旭町1区	かんざか くにお 神坂 州男	120
	旭町2区	きくもと えいこ 菊本 栄子	99
	旭町3区	ゆみざ けんじ 弓座 健次	90
長田地区	松岡町第1区	あさの としあき 浅野 俊明	131
	松岡町第2区	かきぬま しげいち 柿沼 重一	165
	松岡町第3区	さがら さだお 相良 貞夫	140
	陽光台	なかじま てつろう 中嶋 鉄郎	156
	蛇池	しかくぼ としお 鹿久保 利男 副会長	87
	長井戸1区	さがら そういち 相良 莊一	189
	長井戸2区	かとう しげお 加藤 成男	330
	猿山	はつみ たけし 初見 武司	92
	下砂井	あらかわ せいいち 荒川 清一	97
	栗山	いしづか けん 石塚 憲	63
	西泉田	あだち まさお 安達 正夫	214
	上小橋	すずき としはる 鈴木 敏春	148
	旭化成	たに あつし 谷 貴史	4
	雇用促進住宅	ふじしま あきひろ 藤嶋 亜紀洋	20

地区	行政区名	区長名	世帯数
猿島地区	金岡	いながき たけし 稲垣 武	52
	浦向	おおこし しんや 大越 信也	153
	下小橋	かやば けいいち 榎場 桂一	130
	染谷	さいとう まさお 齊藤 政雄	107
	大歩	さいとう ふみお 斉藤 二三夫	130
	中大歩	せきづか もりはる 関塚 守治	40
	内門本田	おしだ つねお 忍田 常男	79
	内門新田	なら けい 奈良 和美	40
	井草	なかじま しげる 中島 茂	89
	七軒	きしもと たけし 岸本 猛	57
	喜五郎	すずき たけお 鈴木 武夫	64
	山崎南	あかおぎ きよし 赤荻 清	61
	山崎北	こんだ たけし 今田 忠幸	73
	伏木北部	おかざき てお 岡崎 照男	72
	伏木中部	ふじた とみお 藤田 富雄	193
	伏木南部	なかやま としお 中山 利雄	160
森戸地区	一ノ谷	さいとう こういち 斉藤 宏一	51
	百戸	かきぬま けん 柿沼 敏行	128
	桐ヶ作・新田戸	うえはら かついち 上原 勝一	42
	若林蓮台	やまむら ふじお 山村 富士雄	161
	若林新田	くらもち としお 倉持 利男	83
	若林本田	くらもち とみお 倉持 富雄	143
	塚崎一	かきぬま よしお 柿沼 義雄	216
	塚崎二	しのつか せいいち 篠塚 誠一	209
	稲尾	こがわ かつお 古川 勝男	72
	志鳥	かなく のぶお 金久保 信夫	89
	横塚	しまね たかお 島根 孝男	40

平成29年4月21日現在（敬省略）

職員の人事異動

異動

（平成29年4月1日付）

- ※派遣及び係長以上の職員を掲載
※○は昇任、（）内は旧所属等
- 【企業立地推進室】
◎室長補佐 藤田一宏
- 【企画経営課】
◎課長補佐 小野博章（税務課）
- 【まちづくり推進課】
◎課長補佐 須藤靖夫
- 【総務課】
◎課長補佐 関根多恵子（保険年金課）
- 【税務課】
◎係長 橋本美奈
- ◎係長 鹿久保淳
- 【住民課】
◎課長補佐 北島令子（人権・協働ハート課）
- 【防災安全課】
◎危機管理監兼課長補佐 高桑大助
- 【人権・協働ハート課】
◎課長補佐 上野伸一（下水道課）
- ◎副参事 倉持雅章（防災安全課）
- ◎男女共同・国際室
- ◎室長 中田薫（課内異動）
- ◎係長 大林美羽（税務課）
- ◎係長 坂井静香（県研修派遣）
- 【福祉部】
◎部長 木村俊男（会計管理者）
- 【介護福祉課】
◎課長 加藤武
- ◎課長補佐 宮本保夫（農業政策課）
- ◎係長 菊地法子（保険年金課）
- ◎係長 五月女優（建設課）
- 【保険年金課】
◎課長補佐 川上透
- ◎係長 岩岡美和
- 【子ども未来課】
◎健康推進室
- ◎室長（課長級） 野口昌夫（健康推進課）
- ◎室長補佐 馬場由香子（健康推進課）
- ◎室長補佐 落合成雄（企画経営課）
- ◎おのぞら保育園
園長 関ますみ（再任用）
- 【建設農政部】
◎課長補佐 中村泰明（まちづくり推進課）

国・県等への派遣

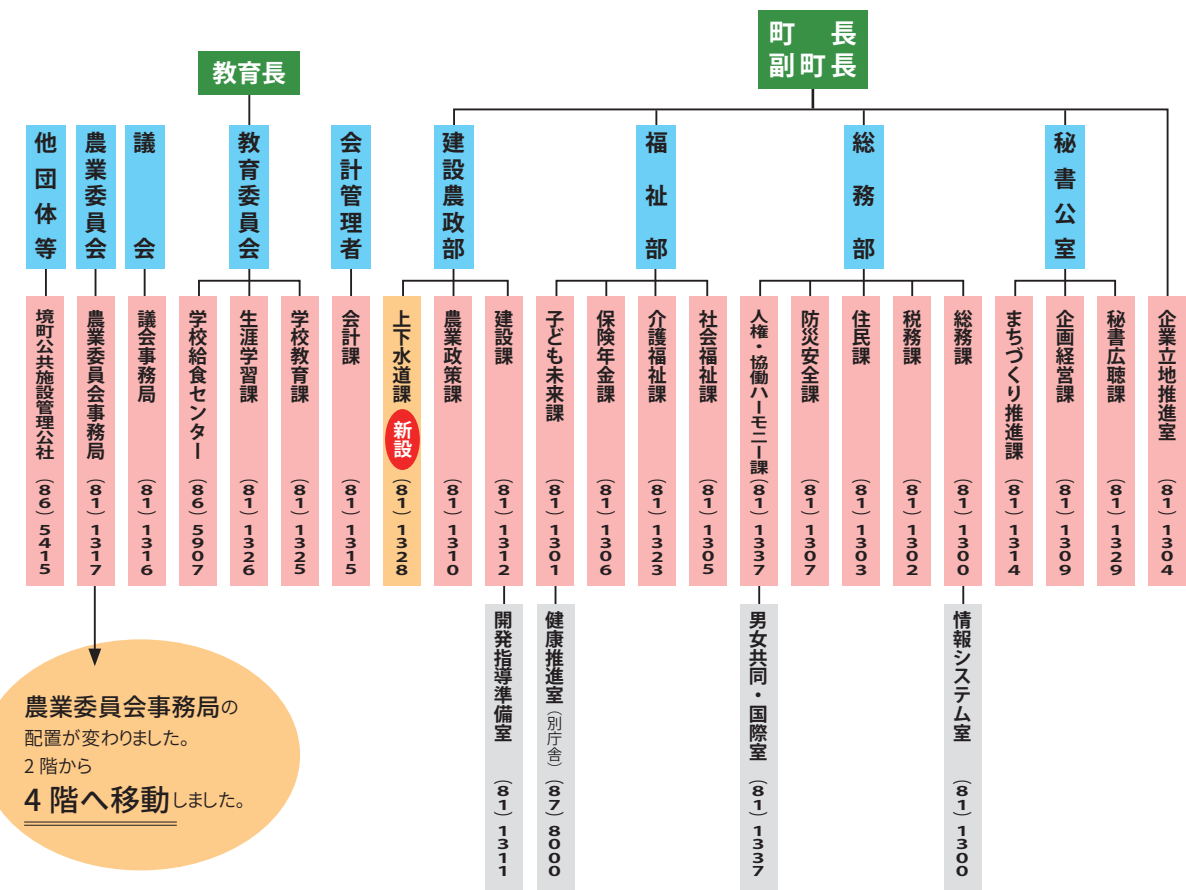
- 【茨城県庁へ派遣】
◎係長 鶴見正喜
主幹 間瀬理恵（継続）
主幹 関塚正昭（継続）
主幹 川上理恵（継続）
主幹 佐々木剛利（継続）
主幹 田中裕紀
- 【茨城租税債権管理機構へ派遣】
主幹 荒川真吾
主幹 高橋真理（継続）
- 【一般財団法人地方自治研究機構へ派遣】
主幹 高橋真理（継続）

退職者

（平成29年3月31日付）

- 石原勝（水道課長）
岸本俊博（管理公社事務局長） 4月1日付再雇用
島根桂子（住民課課長補佐） 4月1日付再雇用
関ますみ（子ども未来課おのぞら保育園長）
小森谷衣子（子ども未来課主査）
中田勝昭（介護福祉課長）
栗原英男（建設課課長補佐）
桜井一美（総務課課長補佐）

機構図及び各課電話番号



祝 グランド チャンピオン 大会

【略歴】
◆小島 千賀子（こじま ちかこ）
昭和 58 年 9 月 25 日境町で生まれる。
森戸小学校・境第二中学校・常総学院
高校・城西大学卒業後、薬剤師として
坂東市に勤務する。常総市で開催された
「NHK のど自慢」に、約 1,100 人の応募
の中で当選・出場し、見事チャンピオン
に選ばれる。さらに、グランドチャンピ
オン大会にも抜擢され、出場を果たした。

NHK のど自慢より写真提供



第 16 回 情熱 境 JOUNETSU-SAKAI

家族思いの歌う薬剤師
こじま ちかこ
小島 千賀子

「美しく聡明な歌声に会場もうっとり」



「NHK のど自慢」グランドチャンピオン大会にて、心地よく響き渡る歌声を披露した小島さん。審査員から「突き抜けるような歌。歌に入った瞬間に顔つきが変わった。この人は歌手だ！」と高い評価を受けました。出場時には、薬剤師として働く様子や、週末に両親の農作業を手伝う様子などが流され、「歌が恋人？家族思いの薬剤師」のキャッチコピーで登場。そんな小島さんの素顔とは？

●歌が好きになったきっかけは？
我が家は、両親も兄弟も歌が好きで、自然と子どもの頃からいろんな歌を歌っていました。家族でカラオケに行ったりもしていました。いまでも、仕事帰りに両親と私の 3 人でカラオケに行くこともあります。

上手になるために特別なレッスンをした、ということはないんですよ。

●NHK のど自慢出場について
病気の友人を励ましたいとの思いから、絢香さんの「はじまりのとき」を歌いました。まさか優勝できるなんて思ってもみませんでした。

グランドチャンピオン大会は、一年間の放送で 46 人のチャンピオンがいるな

●歌をうまく歌うコツは？
歌いやすいキーで歌うことは大切だと思います。あとは、音楽を聞いて自分の声も聞く。片方の耳にヘッドフォンをあてて、音楽を聞きながら一緒に歌ってみたり、カラオケの採点機能で自分の音程が合っているか確認したりします。

今後、大会の予定はないそうですが、素敵な歌声は心癒されます。快活で明るいとても魅力的な女性でした。

か、NHK が選抜した 14 名が出場するというものでした。しかし、直前に風邪をこじらせ、調子が上がらないなかでの出場となってしまいました。歌っている最中に咳が出ないか、不安の中の出演でしたが、「歌手になった気分でした。とても緊張しましたが、無事に歌い終えることができました。本当によかったです！」



優勝トロフィー（右）とグランドチャンピオン大会出場記念の盾

町の次世代農業者の育成 農業リノベーションに挑戦！

町では、農業の自由化を見据えた次世代型の農業経営を取り入れようと、農業生産法人「株式会社舞台ファーム」（仙台市）と「農業担い手育成・農業振興に関する包括連携協定」を締結しました。町の農業を強化するために、今後様々な施策に取り組んでいきます。



締結式にて。株式会社舞台ファームの針生信夫代表（左）と橋本町長。協定締結式には、地元土地改良区の役員やさかい 4H クラブの若手農業者も出席。

生産者の声



4H クラブ会長
荒川 征和 さん

自分は親から受け継いだ技術だけで農業をやってきましたが、今回の協定を機に他のメンバーや新たに農業を始める若手の人たちとともに、先進的な農業の技術や効率化を学びたいです。



4H クラブ元会長
稲垣 征利 さん

農家は、良い時と悪い時の差が激しいので、跡継ぎが育たないという面があると思うのですが、舞台ファームさんと協力していくことで、外から見た境町の現状などをしっかり把握し、町の農家全体で良い方向に進んでいけたらと思います。

株式会社舞台ファームは、米や野菜の生産、加工販売の 6 次産業化を推進し、農業分野の課題解決に取り組んでいる、東北有数の農業生産法人です。

締結された協定は、境町の農業者が米の生産調整の廃止や農産物貿易の自由化の動きに対応し、加工や物流を含めた視点で農業の可能性を探り、後継者の確保につなげていく狙いをもって行われたものです。具体的には、新規事業として、①農業の担い手を育成する「農業新時代の次世代型人材育成支援事業」、②繁忙期の人手不足を解消するためのネットワークである「農業サポーター制度支援事業」、③ドローン（小型無人機）を使った農業の効率化・精密化を図る「農業ドローン支援制度」の 3 つの施策に取り組んでいきます。

今後、同様に様々なノウハウを指導していただきます。

町の農業活性化へ向けた期待の改革！



人権擁護委員に 小野里光男氏、稲垣英世氏が再委嘱

境町では、現在5名の方が人権擁護委員として法務大臣から委嘱をされています。そのうち2名の委員が任期満了を迎えましたが、引き続き人権擁護委員として委嘱され、橋本町長から委嘱状が手渡されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんからの人権に関する相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済をしたり、地域の皆さんが人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。人権問題でお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

【境町人権擁護委員（敬称略）】

- ・倉持 薫（境地区）
- ・中村 好（森戸地区）
- ・田中 次郎（長田地区）
- ・小野里光男（静地区）
- ・稲垣 英世（猿島地区）



▲写真左から橋本町長、稲垣さん、小野里さん

日頃の成果を発表！！ 第23回生涯学習フェスティバル作品展

3月18日（土）から25日（土）の期間中、ふれあいの里において、各種講座や自主グループ、文化協会の皆さんが1年間の学習成果を発表する「生涯学習フェスティバル作品展」が開催されました。会場には、書道や生花、着付、絵手紙、竹工画、写真、盆栽、短歌、陶芸、簾手芸、パッチワーク、アートフラワー、古文書教室の作品などが展示され、期間中、会場は多くの来場者で賑わいました。



▲展示された短歌を眺める来場者



▲パッチワークの展示

▲着付の展示

名称変え再スタート 「境町いきいきクラブ連合会」発足！！

社会福祉会館において、境町老人クラブ連合会が「境町いきいきクラブ連合会」の新名称へ変わり、発足式が行われました。昨年開催された、いきいき福祉大会で名称変更が発表され、今回の発足式で新たな一歩を踏み出すことになりました。

各地域の老人クラブの会員数は年々減少していましたが、いきいき福祉大会開催の効果により各老人クラブが活性化しており、会員数も増加しています。

今後は、さらに活動内容を充実させ、誰もが健康で元気に暮らせるような仕組みづくりを進めていきます。



▲発足式に参加した皆さん

一般社団法人境青年会議所 平成28年度茨城県国際化推進奨励賞を授賞

2月7日（火）、茨城県庁において、国際化推進活動に功績のあった個人・団体を対象に、茨城県国際化推進奨励賞授賞式が行われ、団体の部において、一般社団法人境青年会議所が授賞されました。

3月8日には、境青年会議所の皆さんが役場を表敬訪問し、橋本町長へ報告が行われました。

境青年会議所では、平成26年度より青少年育成事業の一環として、地域の青少年を対象として国際感覚・国際理解を養うことを目的に上海（中国）研修事業を実施しています。今後の一般社団法人境青年会議所の皆さんの更なるご活躍を期待しています。



▲表敬訪問に訪れた境青年会議所の皆さん



▲挨拶をする高橋大希実行委員長



▲災害時にも活用できるエアースト



▲はしご車体験



▲トラクター遊覧ではみんな満面の笑みで菜の花を満喫

ふるさと納税感謝祭 「第15回菜の花フェスティバル」を開催

4月8日（土）、利根川河川敷の境河岸付近において、菜の花フェスティバル実行委員会（高橋大希実行委員長）の主催により、今年で第15回となる「菜の花フェスティバル」が開催されました。

当日は雨がちらつくあいにくの天気でしたが、特設ステージでは日本舞踊やエアロビクス、フラダンス、境高校による吹奏楽演奏などが披露されました。

また、会場では、ジャンボガラガラ抽選会や自治体として初めて境町が導入したエアーストの試乗体験、セグウェイ体験、はしご車の搭乗体験、さかい4Hクラブによるトラクター遊覧などが行われました。

さらに、圏央道茨城県内全線開通記念イベントとして境町商工会青年部による圏央井グランプリが開催されたほか、毎年恒例となった軽トラ市など、多くの催しが行われ、菜の花でいっぱいの会場は例年以上の来場者で賑わいました。



▲多くの来場者で賑わった会場の様子



▲何が出るかな？どきどきのガラガラ抽選会



▲はしご車の上から見た風景



▲様々な丼が並んだ圏央井グランプリ



▲圏央井グランプリ優勝はヨシムラミート（つくば市）の「常陸牛焼肉ブラック丼」

3/12

圏央道開通記念 道の駅さかいで「マグロ解体ショー」

3月12日（日）、道の駅さかいにおいて、圏央道茨城県内区間全線開通記念イベントとして、「マグロ解体ショー」が行われました。捌きたてのマグロを求めて行列ができるなど、道の駅は大勢の来場者で賑わいました。

また、会場では、卵のつかみどりやフルーツ詰め放題、弓削多醤油による搾りたて生醤油のプレゼントなども行われ、来場者を楽しませました。

さらに、道の駅内レストランでは、圏央道開通記念メニューとして「圏央丼」が販売されました。



▲圏央丼そばセット
1,000円（税込）

▲まぐろを求める多くの来場者で賑わった道の駅さかい



▶子どもからお年寄りまで楽しんだフルーツ詰め放題

スポーツ

3/11・12

第46回境町近隣中学校バレーボール大会の結果

会場 境町民体育館・境第一中学校体育館

【女子の部】

参加チーム 16チーム
優勝 結城中学校
準優勝 下館西中学校
第三位 下妻中学校
第三位 境第一中学校

【男子の部】

参加チーム 16チーム
優勝 古河第二中学校
準優勝 桃山中学校
第三位 結城南中学校
第三位 下館中学校

4/8・9

第40回境町ジュニアユースサッカー大会の結果

会場 境町サッカー場・境町総合運動場・境第二中学校

参加チーム 12チーム
優勝 土浦第四中学校
準優勝 下館南中学校
第三位 東海中学校
第三位 岩瀬東中学校



寄付

3/28

更生保護女性会が手作りのお守りを寄贈

いじめのない学校生活を願って、更生保護女性会より手作りのお守りが小学校の新入生211名に贈られました。



▲写真右から増田教育長、岩本支部長、板垣副支部長



3/30

茨城むつみ農協が黄色の安全帽子を寄贈

児童の登下校時の安全を願って、茨城むつみ農協より黄色の交通安全帽子が町内小学校の新入生211名に贈られました。



▲写真右から佐々木猿島支店長、半村常任理事、橋本町長、増田教育長

4/7

常陽銀行が防犯ブザーを寄贈

常陽銀行の成井久朗境支店長が役場を訪れ、この春入学する小学1年生の防犯に役立てていただきたいと防犯ブザーが小学校の新入生211名に贈られました。



▲写真右から平山公務役、成井支店長、増田教育長



俳句

二月二十五日 境町文化協会俳句部

兼題

「節分・春の雪・梅」 他当季雑詠

福豆を撒くや力士の恵比須顔

弥生

※節分には、毎年、各界各層の有名人が豆を撒く。特に人気なのが力士という訳だが、とりわけ今年は、堪えに堪えた末に横綱の大願を果たした稀勢の里関に注目が集まった。久々の日本人横綱の稀勢関。取り口も綺麗だが顔立ちも又恵比寿様のようである。

淡雪や路地に消え行く蛇の目傘

久子

※田舎では先ず見られない光景だが、それもその筈、かつて作者が京都に旅行した折、花街で目にした一場面だからである。淡雪・路地・蛇の目傘の三点を揃えたことで、春の雪降る古都の風情が十分醸し出されている。

梅吹けば菅公偲び詩を憶い

登

※梅の蕾がほころび始めると、往時、藤原氏の謔言により左遷され、大宰府に送られた菅原道真公が詠まれたという歌が思い出され、道真公が偲ばれるという作者である。（東風吹かばにほひおこせよ梅の花あるじなしとて春な忘れそ）

ポストへと向かう足跡春の雪

正六

老木の香り小粋な梅一輪

香こ

延ばす手に降りては消えし春の雪

きよ乃

薄れ陽の光あつめて春の雪

きみ代

綱取りの余韻に浸る梅見かな

光夫

風に耐え膨らむ梅のつぼみかな

なか

梅一輪ほころぶ程の陽気かな

幸子

ひと枝の梅馥郁と床の間に

ちから

節分やクレヨンの鬼の愛らしさ

省三

短歌

境短歌会 山鳩

強風に狭庭の箱の菜園もゆれる小松菜春の足音

桜井レイ

土を割り芽を吹き初むる水仙の丸き蕾を葉の包みおり

斉藤敬子

姉妹して同じ髪型結いし朝ストープの前競いて坐る

川村米子

きさらぎの旧友会は楽しけりグラスさわれば何かが展く

風間リヨ子

寒中夜さぞ寒かろうと帰宅音聞けば家族の寝ごちの良さ

川上ヒサ

庭先の光になごむ淡雪に金柑の色顔のみのぞく

稲田美重子

寒空や嬉しき今日の一日なり短歌の友等と語るたのしさ

飯田俊子

ソックスに下手な美智子と縫うて有り感謝感謝の

松岡美智子

息子ありがとう（入院品とどく）

本島いと子

暮れそむる如月の風吹きすさぶ筑波の嶺に雲のかかりて

五月女三枝子

朝採りしホウレン草はおいしけれ野菜独自の旨みと甘さ

鈴木喜与子

（友より頂きました）

牙え牙えと満月かかる中天を小さき灯り点滅し行く

鈴木喜与子

おしなべて花の盛りになりにけり……。という西行の歌があります。がまさにあちこちで花の便りが聞かれる様になりました。四月を「卯月」というのも十二支の四番目が卯なので「卯月」になったという説もあるそうです。入学、新社会人の方々の第一歩を踏み出す月でもあります。私たちも心新たに一步前へ踏み出して見てはどうかなどと思ったりしています。

「広報さかい」へ有料広告を 掲載しませんか？

広告掲載料 ◎1段全枠 15,000円
◎1段半枠 8,000円

※詳しくは下記までお問合わせください。

問合せ先 役場秘書広聴課
電話 0280 (81) 1329
E-mail kouhou@town.sakai.ibaraki.jp

ヤマハ音楽教室 生徒募集 3月&4月、体験レッスン予約受付中

♪1才児のためのコース
♪2才児のためのコース
♪3才児のためのコース
♪4・5才児のためのコース



詳しいパンフレット・レッスンDVDをご用意しています。お気軽に申しつけ下さい

音楽教室 がくえんどう
境町293-14境小学校西側 ☎ 8 7-6 6 0 8



第17回

利根川いかだレース選手権

スピード部門
アイデア部門
先着 **100** チーム
大募集

平成29年

7/30 [日]

時間 AM8:30 ~ 順次スタート
※アイデア部門から順次スタートとなります。

場所 さかいリバーサイドパーク
(茨城県境町利根川河川敷)

START 栗橋国道4号橋下

GOAL 境大橋手前



賞金及び豪華賞品多数!

参加チーム募集

応募締切 平成29年4月1日~5月31日

詳細は境町役場HPで!!

<http://www.town.sakai.ibaraki.jp/>



お問い合わせ

〒306-0495 茨城県猿島郡境町 391-1 境町役場 境町観光協会内

「第17回 利根川いかだレース選手権実行委員会」事務局 宛

TEL 0280(81)1319 FAX 0280(87)2630 e-mail syoko@town.sakai.ibaraki.jp

町の人口と世帯数 ※平成29年4月1日現在の常住人口(前月比)

■総人口 24,326人 (-10) ■男性 12,202人 (+2) ■女性 12,124人 (-12) ■世帯数 8,270世帯 (+31)

■発行所/境町役場 〒306-0495 茨城県猿島郡境町 391-1 Tel.0280-81-1329 ■編集/秘書広聴課 ■発行日/平成29年4月15日
■境町ホームページ <http://www.town.sakai.ibaraki.jp/>